



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月25日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <https://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 慎也

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 綾 由紀夫 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	31,358	20.0	2,605	145.1	2,688	142.5	1,850	156.1
2023年3月期第3四半期	26,122	5.9	1,063	15.9	1,108	14.0	722	15.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	198.82	—
2023年3月期第3四半期	77.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,843	37,110	82.8
2023年3月期	44,760	36,225	80.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,110百万円 2023年3月期 36,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	55.00	95.00
2024年3月期	—	55.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	65.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	9.9	3,400	47.4	3,470	46.8	2,320	42.5	249.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,903,240株	2023年3月期	10,903,240株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,580,351株	2023年3月期	1,615,689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,308,123株	2023年3月期3Q	9,286,835株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2024年3月期3Q 143,000株、2023年3月期 178,500株、2023年3月期3Q 178,500株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、わが国景気への影響が懸念される一方で、新型コロナウイルス感染症対策の方針転換によって経済活動の正常化が着実に進み、雇用や所得環境が改善する中で景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況にあつて当社は、当期が初年度となる中期経営計画「NEXT VISION 2028」に基づき、3つの基本方針「既存間仕切事業の成長」「新規製品の創出」「生産・物流オペレーションの高度化」に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、首都圏を中心とした主要都市部における旺盛なオフィス需要を背景に、特にオフィス向けが順調に伸び、学校・体育施設、福祉・厚生施設、工場向けも好調に推移し、売上高は313億58百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。また、原材料価格の上昇を受けて進めてきた販売価格の適正化が高い水準で浸透したことも増収に寄与しました。品目別では、オフィス需要の増加により、可動間仕切を中心に好調に推移しております。受注高は340億60百万円（前年同四半期比10.9%増）となり、特に固定間仕切が好調に推移いたしました。受注残高は192億48百万円（前年同四半期比2.8%増）となり、増加傾向を維持しております。

利益面につきましては、販売価格の適正化が浸透したことで、売上総利益率は33.8%（前年同四半期比1.8ポイント改善）となり、営業利益26億5百万円（前年同四半期比145.1%増）、経常利益26億88百万円（前年同四半期比142.5%増）、四半期純利益18億50百万円（前年同四半期比156.1%増）となりました。

当第3四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	13,214	123.4	13,709	113.3	4,692	98.1
固定間仕切	6,734	123.5	8,250	132.8	5,822	119.4
トイレブース	5,702	118.8	6,445	106.9	3,874	104.7
移動間仕切	4,284	113.2	4,320	88.4	4,429	92.6
ロー間仕切	431	106.7	418	93.8	74	66.4
その他	992	102.3	916	88.7	354	76.3
合計	31,358	120.0	34,060	110.9	19,248	102.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は448億43百万円となり、前事業年度末と比較して82百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は302億21百万円となり、前事業年度末と比較して2億21百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産2億22百万円、電子記録債権1億86百万円等の増加と、受取手形、売掛金及び契約資産1億40百万円等の減少によるものであります。固定資産は146億22百万円となり、前事業年度末と比較して1億38百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債は53億28百万円となり、前事業年度末と比較して7億69百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金6億25百万円、未払法人税等5億36百万円等の減少と、買掛金1億円等の増加によるものであります。固定負債は24億5百万円となり、前事業年度末と比較して31百万円の減少となりました。

純資産の部では、純資産の総額は371億10百万円となり、前事業年度末と比較して8億84百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は82.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この地震による当社従業員への人的被害はなく、本社・工場における建屋および生産設備への被害は軽微です。また、一部の調達先の被災による影響につきましては、2024年1月23日に公表しました。

「令和6年能登半島地震の影響に関するお知らせ(第三報)」のとおり、被災した調達先の稼働開始を確認しており、代替調達手段等の対策についても対応を進めていることなどから、現時点において生産への影響は軽微であると見込んでおります。

この地震による当社業績への影響につきましては軽微であると見込んでおります。そのため、2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年10月26日に公表しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりといたします。今後、業績に重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,579	15,583
受取手形、売掛金及び契約資産	10,253	10,113
電子記録債権	2,929	3,116
棚卸資産	1,023	1,246
その他	214	162
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,999	30,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,396	11,604
機械装置及び運搬具	7,622	7,681
土地	4,646	4,646
その他	1,621	1,639
減価償却累計額	△13,364	△13,680
有形固定資産合計	11,922	11,890
無形固定資産	420	387
投資その他の資産		
その他	2,425	2,351
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,418	2,344
固定資産合計	14,760	14,622
資産合計	44,760	44,843
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345	2,446
未払法人税等	732	196
賞与引当金	1,250	625
その他	1,769	2,060
流動負債合計	6,098	5,328
固定負債		
退職給付引当金	1,810	1,863
役員退職慰労引当金	86	—
役員株式給付引当金	209	188
その他	330	352
固定負債合計	2,437	2,405
負債合計	8,535	7,733

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	32,627	33,436
自己株式	△2,582	△2,525
株主資本合計	36,180	37,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45	63
評価・換算差額等合計	45	63
純資産合計	36,225	37,110
負債純資産合計	44,760	44,843

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	26,122	31,358
売上原価	17,773	20,767
売上総利益	8,348	10,590
販売費及び一般管理費	7,285	7,985
営業利益	1,063	2,605
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	8
受取保険金	—	41
受取家賃	19	16
その他	13	16
営業外収益合計	45	83
経常利益	1,108	2,688
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	28	18
特別利益合計	29	18
特別損失		
固定資産除売却損	6	1
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	6	1
税引前四半期純利益	1,131	2,706
法人税、住民税及び事業税	240	632
法人税等調整額	168	222
法人税等合計	408	855
四半期純利益	722	1,850

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。